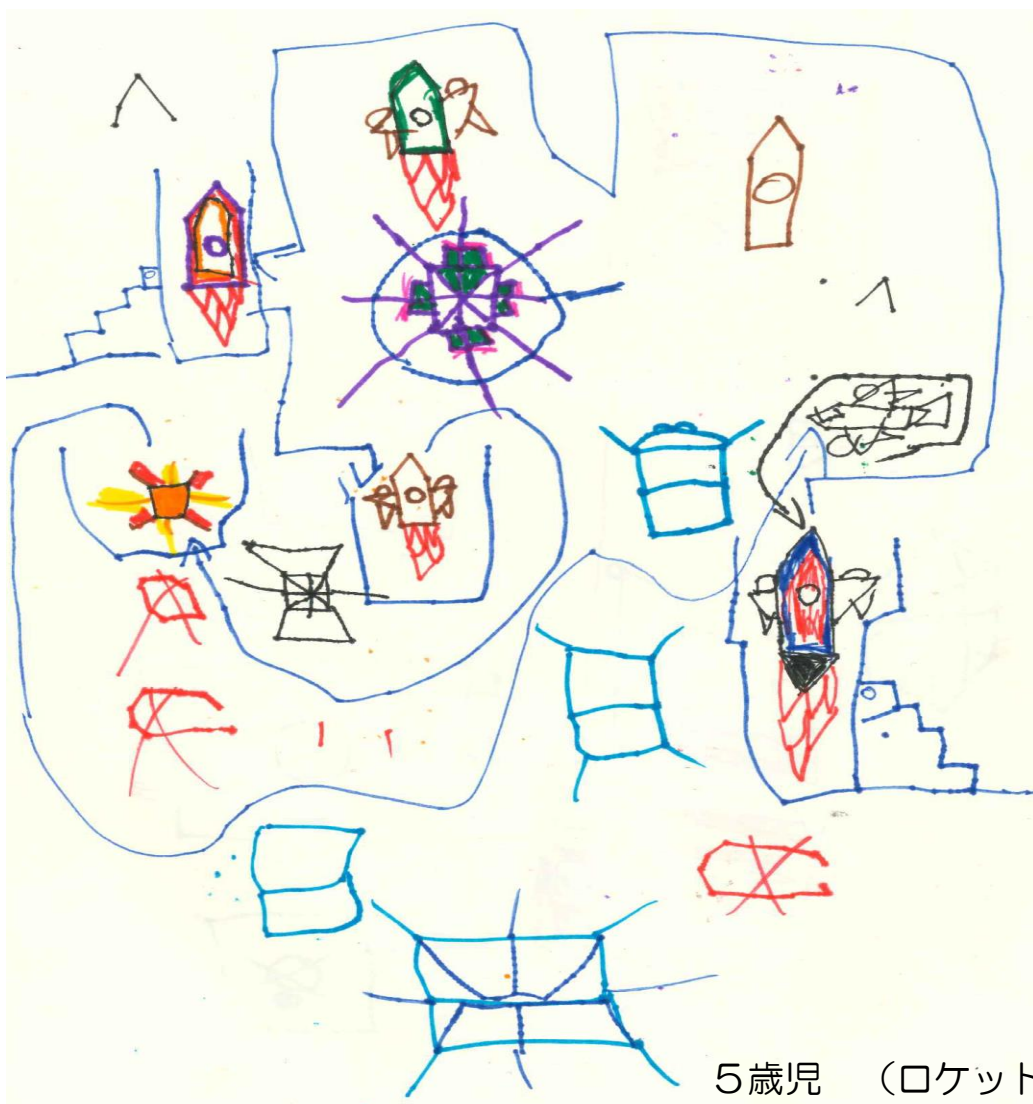


はっぴこどもえん えんだより 2020ねん

3 がっごう



5歳児 (ロケット)



- ★ 3月2日（月）より、新しい学年への移行が始まります
にじ組・そら組はグループを変更し、なぎさ組も、移行日より新しい幼児グループで活動します。詳しくは、お手紙やポップでお知らせします。
- ★ 3月14日（土）は卒園式です
今年も職員全員でかもめ組の子どもたちを送りだしたいと思いますので、この日は出来るだけ家庭保育をお願いいたします。
また、そら組は卒園式に参列しますので、14日（土）（10：00～11：00）は全員、登園にご協力ください。
- ★ ICカードの返却について
今年度、卒園・退園される方は、登園最終日に、ICカードを職員室へご返却ください。
- ★ 延長・預かり保育の申請辞退について
延長・預かり保育の利用申し込み・利用辞退は、申請月までに必ず申請用紙を提出してください。用紙を受理した月の、翌月からの変更になります。
- ★ 2020年度入園お祝い会は4月4日（土）に行ないます
今年度の入園お祝い会を欠席された方、途中入園された方は、ぜひご参加ください。（後日、案内の手紙を配布します。）
- ★ 職員退職のおしらせ
3月31日付で、山田、松本（育休中）、金月、日比が退職します。
伊藤がだいな幼稚園へ異動します。
- ★ 2020年度の職員体制のお知らせ
園長：片山
副園長（本部兼任）：藤原 副園長：原 主幹保育教諭：橋本
おひさま組：福山・竹中・藤村・山本^{やまもと} [新任]
なぎさ組：岡野・大嶋・笹井^{ささい} [新任]
にじ組：中谷・平栗^{ひらくり} [新任]
そら組：和泉・福岡（フリー兼務） かもめ組：澤根
フリー：能宗・山岡・梶原・田中・飯銅・野口・山寺（育休より復帰）
給食：岩淵・近藤・岩元・瀬島
事務：浅原 清掃：谷口・山内

旅立ちも健康で・・・

園長 かたやま 片山

先月は、発表会へお越し下さりありがとうございました。たくさんの方々に見守られながら舞台に立つということは、子どもたちにいろんな想いを彷彿させることとなり、価値のある経験を味わったのではないかと考えております。また今年はクラス毎に観ることができるようになりました。そのことで、例年より子どもの様子が見やすそうで、子どもに向けられる集中度も高まっていたと感じられました。

桜、チューリップの蕾が膨らみ、いつの間にか暖かい春がやってきました。かもめ組は最後の1か月がスタートしました。心も体も1年前に比べて大きく成長した子どもたちの姿を見ていると、大人こそ成長しなくてはと勇気をもらいます。

さて、世の中は、コロナウィルスに翻弄されています。政府からも不要不急な会は開催しないような通知があり、さまざまな行事・研修等の集いが相次いで中止になっています。園としても感染症対策をしっかりと実践していくところですが、100%防げる方法はないと思います。何よりも大切なことは、個々の免疫力UPであると考えています。

そこで、今回は免疫力を上げるために免疫力を高める方法を、私の前職の製薬会社からの情報を一部要約し、ご紹介させていただきます。

10人の男女を対象に、コメディアンによるユーモラスな映像を見た場合と教訓的なビデオテープを見た場合とで、唾液中の免疫物質IgA濃度を比較したところ、教訓的なビデオの後のIgA濃度は変化なしでしたが、ユーモラスな映像を見た後のIgA濃度は有意に上昇。日々の笑いは、免疫を高めるそうです。

59人の健康な男性（18～30歳）に免疫刺激のためのワクチンまたは生理食塩水を投与し、30分間休養または心理ストレスを与える作業を行う群に分けました。その結果、楽観的思考の人は、心理ストレスにさらされても、ワクチンの抗体価が高まっていた。

18～85歳の男女1002人を対象に、冬期12週間の上気道感染症（風邪）の症状と運動頻度の関係を調べたところ、運動する日数が多いほど風邪をひく日数も少なく、重症度も低いという結果。激しすぎる運動も、運動不足も免疫を落としますが、汗を軽くかく程度の適度な運動がいいようです。

食品にも免疫を高める働きがあります。例えば、200人の医療従事者を緑茶成分（1日：カテキン378mg、テアニン210mg含む）を摂取する群、偽薬をのむ群に分けて比較した研究では、緑茶成分を摂取した群では偽薬をのむ群と比較してインフルエンザ発症率が有意に低下しました。緑茶を飲むとインフルエンザにかかりにくいようです。

《楽観的に、笑って、適度な運動して、緑茶を飲む》といい（らしい）！

上記以外にも方法はありますが、園生活においても免疫力を高めていけるような取り組みを大切にします。私たち大人も感染症から身を守る、感染症がやってきても大丈夫な体づくりを心がけていきたいものです。

新しいことの始まり

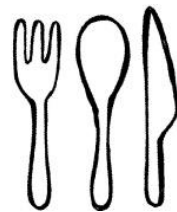
主幹保育教諭 原^{はら}

日に日に暖かさが増していき、春らしさを感じるようになりました。この時期は、いろいろなことが終わり、そして誰もが新しい始まりを迎えます。ある学者は、新しい物事に対して、“前向きに取り組む人”や“保守的な考えを持つ人”と、大きく分けて2通りの心のあり方があると考えます。

新しいことが始まると、「やってみたい」「僕だったらこうしよう」と宣言し、難しい課題であっても挑戦することに意欲を持ち、前向きに行動できる人がいます。対極な考え方として、新しいことが始まると、「無理」「できない」「僕なんかやっても・・・」といった言葉が頻繁に聞かれ、挑戦することに苦手意識を持ち、努力してもできないと考え、現状維持思考になり、行動は保守的になる人もいます。その学者は、子どもたちの研究から、これら2つのタイプを割り出し、心のあり方が前向きであるか保守的であるかによって、その人の学習のあり方、人生のあり方が決まると主張しています。さらに、研究の結果として、大きな成果を上げる人は、前者の、前向きな考え方の持ち主が多かったと結論づけています。どちらのタイプなのか、はまるような極端な人はあまりいませんが、物事の始まりの時点では、考え方や感情がどちらかに寄っています。そして、大人は子どもに対して、「無理」「できない」と言う子より、「やってみたい」と前向きな姿勢を持って取り組んでほしいと願う人が多いと思います。この前向きな考え方を育むポイントは、結果ではなくプロセスを褒めることです。「合格して良かったね」と褒めるよりも、「一生懸命取り組んだから合格に繋がったね」と褒めます。努力、進捗、やり方、集中力、忍耐力などのプロセスに着目し伝えることです。これが、『強くなやかな子どもを育てる』と学者は述べています。

子どもを取り巻く環境や、身近な大人の関わりによって、どんな子どもでも思考は転換します。幼い子ならばなお、この転換がしやすく、元から前向きな子であれば考え方はより強固します。1ヶ月後、新しい環境に進級・進学する子ども達。これからいろいろなことが始まります。その時に、どのように向き合い、取り組むのかによって、その学びの価値が変わります。周りの大人の関わりを基盤にし、いろいろなことに前向きに取り組めたら良いですね。「やればできる!」という言葉は自分の可能性を広げてくれる大事な言葉だと感じます。ただのおまじないのような言葉ではありますが、そこには前向きな思考の要素が含まれています。子どもの成長は、斜めにかかる螺旋階段と表現されることがあり、行きつつ戻りつつしながらも進んでいきます。大人の関わりによるしっかりとした土台があり、やればできるという前向きな意思で、一歩ずつ階段を上がっていきます。終わりと始まりがある3月だからこそ、プロセスや取り組む姿勢に着目し、難しいところは共に考え、対話しながら、子ども達の豊かな成長に、一緒に関わっていきたいと思います。

お台所の先生から

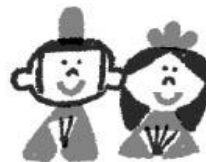


こんどう いわぶち
近藤 岩渕

一年も終わりに近づき、今年度最後の月となりました。年度始めに比べると、子ども達の食べる量は増え、「おかわりまだありますか?」「今日全部食べたよー!」といった声も多く聞けるようになり、給食の場でも子ども達の成長を感じることができ、とても嬉しく思います。

3月3日はひな祭りです。『桃の節句』とも言われ、女の子が美しく成長し、末永く幸せになれるよう祈り、願う行事です。当日の給食とおやつでは、ちらしずし・ひなあられを出します。年に1度のメニューなので、子ども達の反応が楽しみです。

桃の節句の「ひし餅」「はまぐり」

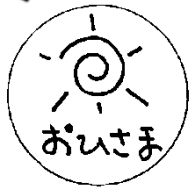


ひし餅のルーツは古代中国にあり、古代中国では母と子の健康を願い、^{ははこぐさ}母子草の餅を食べていました。これが日本では、よもぎ餅となり、長寿や純潔を表す「ひしの実」を入れた白餅と、魔よけの意味をもつ「くちなしの実」を入れた赤餅が加わったと言われています。はまぐりは、『貝同士がぴったり合わさるものは、2つとない』ことから縁起物とされ、女の子が良い伴侶に巡り合えるようにと、吸い物などに入れて祝い膳として出されるようになりました。



《かもめ組さんのリクエストメニュー》

はっとこども園で食べる給食もあと1ヶ月となりました。かもめ組さんの食べたい好きなメニューのリクエストを一人一つずつ聞き、3月1日から卒園式まで献立メニューに取り入れます。自分のリクエストメニューが出てくる日を、楽しみに待っていてくれるようで、調理室で作る私達も、その姿を見て、より作り甲斐を感じています。ディスプレイの場所に、その日は誰のリクエストなのかを記載しますので、「今日は誰のリクエストかな?」「何をリクエストしたのかな?」とお迎えの時に是非ご覧ください。



2月の様子

リトミック

2月はサーキットの代わりに、リトミック・リズム体操を行ないました。ピアノの音に合わせて動物や虫などの生き物になったり、乗り物に変身したりとたくさん身体を動かしました。「次は何に変身する?」と尋ねると、「ゾウさん」「ハトポッポ」といろいろな動物があり、ピアノが始まると笑いながらする姿や真剣になりきる姿が見られました。

戸外あそび

〈赤・青グループ〉

年上のお友達の様子を見て、固定遊具の階段や網階段を上ってみようとする子、築山の上に1人でハイハイや歩いて登ろうとする子などいろいろなことに挑戦する姿が見られました。手と足を上手に使い身体を動かすことを楽しんでいました。また、HAT内をバギーに乗り散歩しました。広場でバギーから降りると自分で好きなところに行き、草花などの自然に触れたり、保育者と追いかけてっこをしたりしました。

〈黄・緑グループ〉

「むっくりくまさん」を歌いながら保育者から逃げたり、「待て待て」と追いかけたり、簡単なゲームをしながらたくさん走ることができました。園庭にあるタイヤを見つけ、転がす、持ち上げるなど、身体をいっぱい使って重いタイヤを動かして遊びました。また、築山の上からお友達と「おーい」「やっほー」など大きな声を出したり、「一緒に行こう」「おてて」と自ら手をつないで築山の裏を探索したり、お友達と一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られました。

コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉

ままとコーナーでは、年下のお友達にご飯を作り、スプーンで「あーん」と食べさせたり、ハンカチで口を拭いたり真剣な顔でお世話をしようとする姿が見られました。また、コップを持ち、乾杯して遊ぶなどお友達に興味を持ち関わろうとする姿も増えてきています。構成コーナーでは、保育者が並べた積み木に触れ、ドミノ倒しをしたり、電車をたくさん繋げたりして遊びました。

〈黄・緑グループ〉

おままとコーナーでケーキを作り、誕生会ごっこをしていると、子ども達が先生役になりインタビューが始まりました。みんなで「ハッピーバースデー」を歌い、1人ずつケーキのろうそくを「フー」と吹き消し、お友達をお祝いしていました。また、赤ちゃん人形を使って「鼻吸うね」「お熱がある」とお医者さんごっこして、自分の経験と結び付けて遊ぶ姿が見られました。

感触あそび

絵の具あそびをしました。赤・青グループは、赤色の絵の具を水と混ぜて、紙に広げて遊びました。夏の排出あそびで経験した子も、今回初めて絵の具に触る子も抵抗なく絵の具に触れることができました。黄・緑グループは、赤と黄の2色を使い、色の混ざり方や色の変化を見て「おもしろい」「不思議」「びっくり」といろいろな表情が見られました。

食育

2月の食育は「ブロッコリー」でした。ブロッコリーのつぶつぶを触ったり、大きなブロッコリーを1人で抱えて重さを感じたりしました。みんなで茎についた葉を裂きましたが、硬くて難しかったのですが、お湯でグツグツ煮ると、柔らかくおいしいブロッコリーに変身しました。給食で苦手な子も、マヨドレをつけて食べる事ができていました。



3月の活動

サーキット

〈赤・青グループ〉

跳び箱よじ登り→はしご渡り→平均台お尻すりすり→三角マットを転がる（おもいごころ）→ロイター板の上り下りを進むユニットを行ないます。

〈黄・緑グループ〉

ロイター板上りすべり台下り→マット山をよじ登る→平行棒の上を歩く→はしご登り→平均台を跨いで進む→机トンネルを進むユニットを行ないます。

戸外あそび

〈赤・青グループ〉

園庭では引き続き、築山の上下り、ミホランドのすべり台を滑るなど身体を動かして遊びます。ボールに興味を持っている子が増えてきているので、遠くに投げたり、転がして「まてまて」と追いかけたりして、触れ合えたらと思います。固定遊具の網階段を登ろうとしたり、すべり台を滑ったりしようとする姿があります。発達に合わせて遊び込めるように提供していきます。いい天気の日には、みんなで日向ぼっこをし、太陽の暖かさ、春の訪れを伝えていきます。

〈黄・緑グループ〉

「〇〇くん、どこ？」と訪ねるとお友達を探したり、保育者に見つからないように隠れたりする姿が見られるようになってきています。保育者と一緒に簡単なかくれんぼやおにごっこなどをして遊びたいと思います。また、HAT内やパンダコアラ公園まで散歩をし、菜の花や虫などの春探しに出かけます。

コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉

移行期に入り、すすすくの部屋でもめ組が過ごすので、めばえとほかほかの部屋で過ごします。おままごとを通して保育者やお友達とのやりとりを楽しめるように関わっていきます。「どうぞ」や「ちょうだい」など言葉を少しずつ覚え、伝えようとする姿が見られます。保育者が代弁し、たくさんの言葉に触れられるようにしていきます。また、引き続き電車や線路などの構成あそびや簡単なパズルなどの机上あそびも提供していきます。

〈黄・緑グループ〉

移行期に入り、なぎさ組のお部屋で過ごします。おひさま組にはなかった粘土やパズル、ひも通しなどの玩具があり、子どもの選択肢が増えます。自分の好きな玩具・遊びを探し、見つけたりしながら新しいお部屋に慣れ、安心して過ごせる環境をつくっていきたいと思います。誕生会ごっこやお店屋さんごっこ・お医者さんごっこなど、ごっこ遊びで遊ぶ子が増えてきています。一緒に遊び込み、楽しさを共有し遊びを発展させていきます。

わらべうた

♪こどものけんか ♪あんたがたどこさ ♪八べえさんと十べえさん

「こどものけんか」も「八べえさんと十べえさん」も指を細かく動かします。少し難しいところもありますが、はじめはゆっくりと上手に指を使えるようにしていきたいと思います。

食育

3月は「イチゴ」を予定しています。大きなイチゴを1人1つ丸ごと味わいます。赤くてつぶつぶがたくさんついたイチゴ。中を見てみると白いという驚きを子どもたちと共有したいと思います。また、食べてみると「甘い」「酸っぱい」と味覚だけでなく「柔らかい」「つぶつぶしている」と食感にも注目したいと思います。





2さい
なごさぐみ

かしはら やまおか ふじむら
梶原・山岡・藤村



2月の振り返り

食育

～ホットケーキ～

子ども達がホットケーキの粉と水を混ぜて作りました。トロトロな生地が焼けていくと小さな穴が出ていました。それを見て「プツプツしているね！」と驚いた顔をしていました。生地をひっくり返すと、拍手をして喜ぶ子どもの姿がありました。食べてみると「おいしい」とニコリ笑顔を見せてくれ、おかわりもして満足そうな子ども達でした。



うた

「ホットケーキのうた」(2月の教材曲)

「ホットケーキをつくろう～うまくやけるかな♪」と、お集まりやホットケーキの食育の時に、子どもたちと歌いました。焼いてから出来上がるまでの時間にたくさん歌ったおかげで、美味しいホットケーキができました。

園庭遊び

園庭に出ると走り出す子ども達。「先生！追いかけてこしよう！」という一言から追いかけてこが始まります。ただ追いかけるのではなく、保育者が“おばけ”に変身します。このおばけはお尻が大好きで、子どもたちのお尻を食べようと追いかけます。気がつけば2、3人から始まった追いかけてこが10人という大人数になったり、いつの間にか子どもたちがおばけに変身して保育者が逃げたりするときもあります。追いかけてたり追いかけられたり、たくさん走って元気に遊んでいます。

米粉粘土

初めて米粉を使って粘土遊びをしました。「サラサラで気持ちいい」と粉を何度も触っていました。米粉を粘土にして子ども達に渡し、さらに米粉を加えて、仕上げとしてこねてもらいました。赤・青・白の3色の粘土を作ったのですが、全部混ぜて違う色にしてひたすらこねている子や、使い見立て遊びをする子などが見られました。特に食べ物に見立てている子が多く、ホットケーキやのりまき、おにぎりなど様々なものを作って楽しんでいました。

表現遊び

さんびびきのやぎのがらがらどんの表現遊びをしました。保育者がトロール役になり、子どもたちが小さいヤギや大きいヤギに変身し、橋を渡るために歌を披露したり触れ合いをしたりしました。それぞれヤギの表現方法が違い「私は大きいヤギはこうするんだよ」と言い、手足を伸ばして歩いたり、「小さいヤギは可愛い声で」など、子ども達の豊かな個性が見られました。





3月の活動内容

うた（今月の教材曲）

「ふしぎなポケット」

今月は、ふしぎなポケットを歌います。お集まりなどで上手に歌を歌っている子どもたち。最近は何かをしながら鼻歌のように歌ったり、子ども達だけで一緒に歌ったりしている姿が見られます。「ポケットの中にはビスケットがひとつ♪」のところをいろいろな食べ物に変えて歌い、たくさん歌っていきます。

他に「どんないろがすき」「うれしいひなまつり」を歌います。

食育

「クッキー」

クッキーのいろいろな型どりをしたいと思います。自分たちで作ることで、焼く前の生地と焼いた後の生地の変化や感触、色の変化にも気付いて欲しいと思います。出来上がったものをおやつで頂く予定です。

絵本

「3匹のこぶた」

子ども達が大好きな絵本です。絵本コーナーに置いているので、いつでも読めるようになっていました。一緒に読んでいる時に「せーの！ふー」と息を吹いている姿があるので、オオカミが家を吹き飛ばすシーンでは子どもたちとオオカミになりきって遊べる1冊です。



折り紙

今月は折り紙に挑戦します。子どもたちが楽しめるようにいろいろな色を用意し、チューリップや犬、キツネを作ります。角をあわせたり指でアイロンをしたりとポイントも伝えていきます。同じ折り方でもチューリップになったり、犬になったりと、見る角度によって変化する折り紙ならではの楽しさを感じてもらおうと思います。作り方などぜひ子どもたちに聞いてみてください。



移行期

今月から移行が始まります。年明けからは担任と一緒に2階に上がり幼児さんと一緒に給食を頂きました。給食の準備ができるまでは、うみのお部屋で遊んで待っていることもありました。いつもよりもおかわりをたくさんしていたり、お兄ちゃんお姉ちゃんに食べさせてもらって完食できたりと、幼児さんに影響を受けている姿が見られました。

移行期は、1階のなぎさのお部屋から2階の一番奥のかぜのお部屋に移動し、幼児さんと一緒に過ごします。子ども達もドキドキしていると思いますが安心して過ごせるように担任も一緒に2階に上がります。何か分からないことがありましたらいつでもお声掛けください。





さわね いすみ のうそう
澤根・和泉・能宗

2月の振り返り

うた「豆まき」(2月の教材曲)

豆を投げるふりをしながら面白く歌いました。2月3日の節分では、「みんなの中にある泣き虫鬼や怒りんぼ鬼を外に追い出すんだよ」と子どもたちに伝え、鬼を見るまでは「鬼は外! 福は内!」と豆を投げる準備万端でした。鬼を見た途端に鬼から逃げ回ったり、泣いてしまったりと怖がる子どもたちでした。しかし、保育者と一緒に投げたり、元気に投げている子もいて、それぞれに節分を楽しみました。

♪その他、「こんこんくしゃん」「おにのパンツ」「うれしいひなまつり」を歌いました。

描画

「鬼の角づくり」

黒い紙帯にいろいろな大きさの三角形の角をつけました。角を2つつけて本当の鬼のようにしたり、たくさんつけてカラフルにしたりとそれぞれ考えて作っていました。そこに、クレヨンで自由に模様を描き、オリジナルの角が完成しました。作ったものを頭にあてて鏡で確認すると、とても嬉しそうで友達と見せ合いっこをしている姿がありました。



ルールのあるあそび

鬼ごっこ・・・作った鬼の角をつけて、可愛いちびっこ鬼に変身したにじ組さん。保育者対子どもで鬼ごっこをすると、「まで〜!」と元気いっぱい走り回っていました。鬼ごっこの後の自由遊びの時間でも、気に入って頭につけながら遊ぶ姿がありました。

転がしドッジボール・・・転がしドッジボールでは、ルールを理解して丸の形の線の中に入れてボールが体に当たらないように「キャー」と上手に逃げていました。ボールに当たって線の外にでた子も、お友達にボールを当てられるように頑張っていました。

サーキットポイントレッスン

「マット：前回り」

2月からは前回りに挑戦しました。おへそを見て頭の後頭部をつけて回るよということを伝え、上手に回っていました。

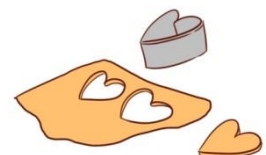
「跳び箱：開脚乗り」

開脚乗りはほとんどの子ができていて、跳ぶ時にロイター板に両足で踏み切って跳ぶことを意識できるよう伝えながら行ないました。

食育

「クッキーづくり」

ジップロックの中に材料を入れて、順番に混ぜました。それを、丸めてから平にし、好きな型で型抜きしました。上手に型抜きできている子と、難しそうにしている子にはお友達が優しく「こうするんだよ」と教える姿がありました。おやつの際に、たくさん焼けたクッキーの中から自分で作った形を見つけ出し、食べていました。





うた

「さんぽ」(今月の教材曲)

いろいろな歌を歌えるようになった子ども達、今月は「さんぽ」という長い歌に挑戦したいと思います。リトミックでも歩いたり、曲を弾くと口ずさんだりするくらい親しみのある歌です。歌詞に着目して、「トンネルやくモの巣をくぐる時はどんな風にするかな？」など、子どもたちに問いかけながら楽しく歌います。暖かくなってきたので、「さんぽ」の歌を口ずさみながらおでかけをします。

～その他の曲♪～

「春が来た」「ポンポンと春が来た」を歌います。



描画

「紙の上でさんぽ」

グループの友達と模造紙の上で足に絵の具をつけて散歩してみようと思います。そこにクレヨンで散歩に行つて見たものや遊んだことなど、散歩をイメージして自由に描きます。自分の足と友達の足の大きさや形の違いにも気付けるようにします。

散歩

そら組になると遠くまで散歩に行くことが増えます。友達と手を繋いでしっかりと並んで歩いたり、足に力をつけるためにもいろいろな公園に散歩に行きたいと思います。

サーキットポイントレッスン

「鉄棒：前回り・ぶらさがり」

「跳び箱：開脚乗り・跳び」

移行期

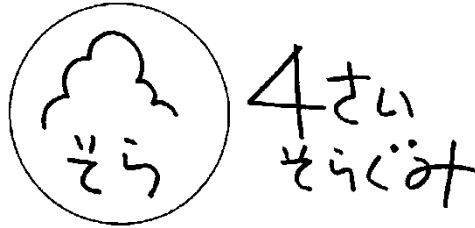
・歯磨き

今年から歯磨きが始まり、毎日半数の子どもたちがそら組とかもめ組に分かれてお兄ちゃんやお姉ちゃんに教えてもらいながら一緒にしていました。「今日は誰が歯磨き？」と毎日聞くくらい子どもたちも楽しみにしています。3月からはにじ組全員で行ないます。

・年下のお友達

今までは幼児クラスの最年少として、お兄ちゃんやお姉ちゃんに遊び方を教えてもらったり、一緒に遊んだりとたくさん優しくしてもらいました。3月からはなぎさ組のお友達も同じフロアで過ごします。年下のお友達とどんなふうに関わり成長していくのか楽しみです。





はしもと ぶんおが
橋本・福岡

2月の振り返り

「うた」

「豆まき」(今月の教材曲)



2月3日に全園児で「節分」がありました。新聞でできたたくさんの豆を投げて鬼を追い払おうとする子や、怖くて逃げてしまう子、泣き虫鬼やケンカ鬼、自分の中に住んでいる鬼を退治できたことと思います。そのため、行事後も歌いたいと言う声が聞こえてきて、歌のたびに思い出を語る姿や、折り紙にもその印象の強さが表れていました。また寒くなり雪がちらつくこともあったため「ゆき」の歌もとても楽しく歌っている姿がありました。



「折り紙・描画」

「鬼」2枚の折り紙を使って、「1本角の鬼」、「2本角の鬼」を折りました。園に来た赤鬼と青鬼だけでなく、他にもどんな色の鬼がいて、何をしているかを想像し、様々な色の鬼が出来上がっていました。園での節分の様子やたくさんの豆で鬼をやっつけている様子、また優しい鬼と過ごしている様子など、思い思いの鬼とのかかわりが描かれていました。

「サーキット運動」

「跳び箱：開脚跳び4・5段」「マット：前転」

跳び箱は段々と恐怖心も薄れてきた様子で、思い切って跳んでいる様子が見られました。マットでは、前転後に回った勢いそのまま立ち上がることをポイントにし、うまく回れるように伝えていきました。

「ピアノカ(音遊び)」

発表会の合奏で様々な楽器、劇でハンドベルを使うなど、音楽に触れる機会が多かったため、「早くピアノカやりたい」という声がとても多かったです。救急車の音やクラクションなどの音遊びは「けがの人はいませんか?」「止まりまーす」などと、ごっこ遊びのようにして楽しみました。



「食育」

「豆バイキング」

クラスで「そら豆」を育てていたり節分で豆まきをしたりした経験から、豆に興味を持つことができました。そこで、育ち方やいろいろな豆の種類、豆で出来た食品やおやつを知り、食べたい豆製品についてグループに分かれて話し合いました。「大豆」から「豆腐」「醤油」「味噌」など色々なものが出来ていることや、「そら豆」や「枝豆」、「黒豆」と身近な豆の話や、「豆苗」、「豆もやし」などの聞き馴染みのない豆などの話もしました。また「カカオ豆」から「チョコレート」が出来ていることにみんなとても興味津々でした。

3月の活動内容

うた

「はるがきたんだ」(今月の教材曲)

園庭や公園、はっとの街中の木々や草花の芽の息吹、太陽の日差しの暖かさ、吹く風など、春の訪れの季節となりました。そんな心地よさを体いっぱい感じ、日々の色々な活動や遊びを経験し、歌の中でもイメージしていきたくと思います。

他にも「ひなまつり」「はるがきた」「みんなともだち」なども歌います。



描画

そらぐみみんなで11月の末に植えたチューリップやそらまめ、パンジーが芽を出し、葉っぱも少しずつ増え、段々と育ってきています。4月には素敵な花やそら豆ができることでしょう。「どんな花が咲くのかな」「こんな花が咲いたらうれしいな」「葉っぱや茎はどこまで大きく伸びるのかな」など、期待いっぱいの気持ちを絵に表したいと思います。

折り紙

「ひな人形」

2枚の折り紙を使って「おだいりさま」と「おひなさま」を折りたいと思います。おだいりさまとおひなさまの顔や、その周りの様子はクレヨンで描くため、華やかで個性豊かなひな人形が出来上がると思います。



ピアノカ(音遊び)

先月末からピアノカの音遊びをしています。「ピーポーピーポー」と救急車の音、「ブブー」と車のクラクションの音など、色々な音を見つけて遊びました。また息の吹き方(タンギング)や指使いなど、3月も引き続き、音遊びを楽しみ親しみながら音階や簡単な曲も挑戦したいと思います。

サーキット運動

今月のポイント 「跳び箱：開脚跳び・縦4段・横5段」

「鉄棒：逆上がり(坂付き)」



移行期活動

4月からはいよいよかもめぐみになる子ども達です。期待する気持ちも日ましに大きくなってきています。そこで、今年のかもめぐみさんに1年の生活や遊び、誕生会委員会、お泊り保育、電車でお出かけの心得など、いろいろな事をレクチャーしてもらう機会を設けて、かもめ組への期待とやる気を育てていきたいと思っています。

おでかけ

気候もよくなり、にじ・そら・かもめの3クラスで、おでかけします。かもめぐみさんとも卒園までの残り少ない時間を一緒に過ごし楽しみたいと思います。



5さい
かもめくみ

なかに
中谷



2月の振り返り

うた

「ドキドキドン！一年生」を歌いました。毎年かもめ組さんが歌っているのを聞き、しっかり歌詞を覚えていた子どもたち。すぐに3番まで覚えることができました。「一年生になったら」の歌も歌ったり、『いちねんいちくみのいちにち』という絵本を読んだり「一年生」とはどのようなものかイメージを深めた後、子どもたちに「一年生」について知っていることや楽しみにしていることを聞いてみました。すると「休み時間が楽しみ」「筆箱とかいるねんで」「国語、算数とかもある」など、自分の知っていることをたくさん教えてくれました。一年生になることをドキドキしながらも楽しみにしている子どもたちの姿がみられました。

描画

文字遊びをしました。自分の名前のひらがな一文字を選び、その一文字だけを自分の好きなように紙に書いていきました。遊びの例として、始めに「な」の文字を書き、その丸の中にたくさんの「な」を書いたり、滑り台に見立てたりした後に、子どもたちに「みんなだったらどう遊ぶ？」と聞いてみました。すると「横線がシーソーみたいに見えるから、上に乗せてあげる！」「こっちの線でも滑り台できそう」「ジェットコースターみたい」など次々と意見が出てきました。その後に筆ペンと画用紙を渡し、自分の名前から一文字選んで書くように伝えと・・・「これは文字がひっくり返っているところ」と反対向きに書いていたり、「お家にたくさん住んでる」と文字の中に文字を書いたり、面白い発想で書き進めていく子どもたちの姿がありました。

サーキット運動

跳び箱・・・開脚跳びに挑戦しました。毎週やっていくうちに、少しずつ自力で跳べるようになってきました。
マット・・・側転をしました。綺麗に回ることができるようになってきています。

クッキング

【焼きおにぎり】

→先月できなかった焼きおにぎりを作りました（かもめ組さんが作った味噌とお米を使いました！）お米を研いでいくと「水がきれいになってきた！」と変化に気付いていた、お米ができていく様子を観察しながら楽しんだりしていました。出来立てのご飯を味見してみると、「おいしい！」「いつも食べてるのとちょっと違う？」とのことでした。「おかわり食べたかったな」「また作りたい！」と満足気な子どもたちでした。

【鍋】

→冬野菜を使って鍋を作りました。グループに分かれて野菜を切り、鍋を作っていました。お友達と協力して野菜を順番交代に切っていたり、どのような大きさに切るかも自分たちで話し合っってクッキングを進める姿がありました。出来上がった鍋を食べると「おいしい！」「あったまる～」ととても良い表情でした。

3月の活動内容

うた

「さよならぼくたちのこどもえん」（今月の教材曲）

とうとう今月いっぱい卒園となった子どもたち。はっとこども園で遊んだり、笑ったり、泣いたり、時には喧嘩もしたりと、たくさんの時間を過ごしてきました。歌詞を一つ一つ確認し、園で過ごした毎日を思い返しながらかいてほしいです。また、高い音が綺麗な声でしっかりと出るように、音程にも気を付けながらかいていきます。メロディなしの伴奏で歌うことにもチャレンジしたいと思います。

その他「うれしいひなまつり」「切手のないおくりもの」「カレンダーマーチ」を歌います。

描画

「一年間の思い出」

はっとこども園での一年間を思い出しながら、印象に残っていることや、楽しかったことをクレパスで描きます。好きな紙の大きさを自分で選び、それぞれの思い出を紙いっぱいに表現してほしいと思います。

サーキット運動

ポイントレッスン

鉄棒「逆上がり・後ろ回り」

跳び箱「開脚跳び 6段縦横」

子どもたちと考える活動

子どもたちと話し合い、3つの活動内容が決まりました。3月に実施します。

① 散歩

→どこに散歩に行きたいのかみんなで話し合い、「ゆめ公園」に決定しました。

② クッキング

→たこやきを作ります。どのように分かれて作るのかも子どもたちが決め、お泊り保育のチームで作ることになりました。

③ お別れ遠足

→かもめ組だけで行く最後のおでかけです。どこに行きたいか子どもたちに尋ねると、今までおでかけで行った何か所かが出てきましたが、最終的に「鉄人28号」を見に行くことになりました。決まった理由は「何かを見てまわるよりみんなで遊びたいから」という、なんともかもめ組さんらしい決まり方だなと感心しました。（場所変更の可能性有）

幼児お別れ遠足

3月6日（金）、にじ・そら・かもめ組でおでかけに行きます。最後の異年齢グループ活動です。グループで、どうやったら全員が安全に行くことができるのか考えたいと思います。

移行期について

3月2週目までは、おひさま・なぎさ・幼児の各グループの中から自分の好きな場所を選び、様々なお友達と一緒に給食を頂きます。卒園式後からはかもめ組だけで給食の時間を過ごしたいと思います。また、お調理の先生がリクエストメニューを聞いてくださり、子どもたちが「もう一度食べたい」と選んだメニュー（給食 or おやつ）が3月の献立に入ります。

今月の乳児環境

おかの
岡野

《壁面環境》

植物：菜の花／桜／チューリップ／パンジー／新芽

季節の写真：ひな祭り／春の生き物／春の食材

《天井環境》

季節の飾り物：ピンク・オレンジ・白



《春の生き物と植物》

冬から春へと移り変わるこの季節は、生き物が動き始めたり、新芽が出て花が咲き始めたりと少しずつ春を感じ、園庭遊びだけでなく散歩に行くことも増えます。そこで見つけた生き物や植物を照らし合わせて話ができるような写真を用意し、壁面にすることで子どもたちとの会話や遊びが広がるようにしていきます。また、資料のようなものを作り、絵本コーナーに常設できるようにします。



《「いちご」と「クッキー」》

おひさま組はいちごの食育があります。写真や絵本で、興味が持てるようにします。

なぎさ組は、食育でクッキーの型抜きをします。粘土遊びでも型抜きを使い始めた子どもたちは、だんだん使い方も上手になってきています。クッキーの写真も掲示し、ごっこ遊びにも繋げていきたいと思います。

今月の幼児環境

やまだ
山田

～白/赤/暖色/を基調とした色彩

：壁面環境：

植物写真：チューリップ、タンポポ、パンジー
季節の写真：雛人形
仕掛け壁面：雛人形の各名称

：天井環境：

階段：木の枝（蕾を表現）

：コーナー環境：

造形コーナー、ごっこ遊び
（素材の増加を行ないます）



～3月の旬～



この時期ならではの旬の食べ物を貼りだします。魚や野菜を中心に、大きさなども比較できるように大小違いを付けて掲示し、その食べ物の名前と、代表的な料理の写真なども載せます。子どもたちの身近なものの名前を知るきっかけになればと思います。

～造形遊び ごっこ遊び～

幼児クラスの造形コーナーの素材を増やして、子どもたちの想像がより形にしやすくなります。そして、作ったものですぐに遊ぶことが出来たり、ごっこ遊びへと発展できるように空間を用意します。この空間では造形はもちろんのこと、ごっこ遊びをしながらでも「〇〇が必要」と思ったらその場で作ることが出来ます。保護者の方々にも素材の募集を行いますので、ご協力をお願いします。



これから花粉の飛散する季節となってきます。スギ花粉の飛散ピークは毎年2～3月頃と言われています。フリースやニット、ウール、アクリル素材の衣類は毛が長く花粉が付着しやすいので注意が必要です。肌のバリア機能を保つため皮膚の保湿に勤めましょう。

<花粉症の症状>

くしゃみ、
鼻水
鼻づまり

目のかゆみ
涙、
充血



のどや皮膚のかゆみ
咳や痰
下痢、
食欲減退、微熱→花粉の種類によってはアレルギー反応を引き起こす。

<原因>免疫機能により受け入れられるか判断され異物と判断された場合花粉を攻撃する、抗体が作られ花粉を体外に出そうと抵抗するようになる。この抗体の働きがアレルギー反応である。

<花粉が飛ぶ日を把握>

気温が高く湿度が低い日
風の強い日
前日に雨が降った日
晴れた日の昼過ぎ
晴れた日の日没

花粉を体内に入れない

花粉専用マスクを正しく装着することで7～8割防げる。

- * 顔に合ったサイズでノーズクリップの形を鼻に合わせる。
- * プリーツを伸ばし、鼻から顎まで隠れるようにする。
- * くしゃみや鼻水で内側が汚れたらすぐ交換する。
- * 花粉症用のめがねの装着。

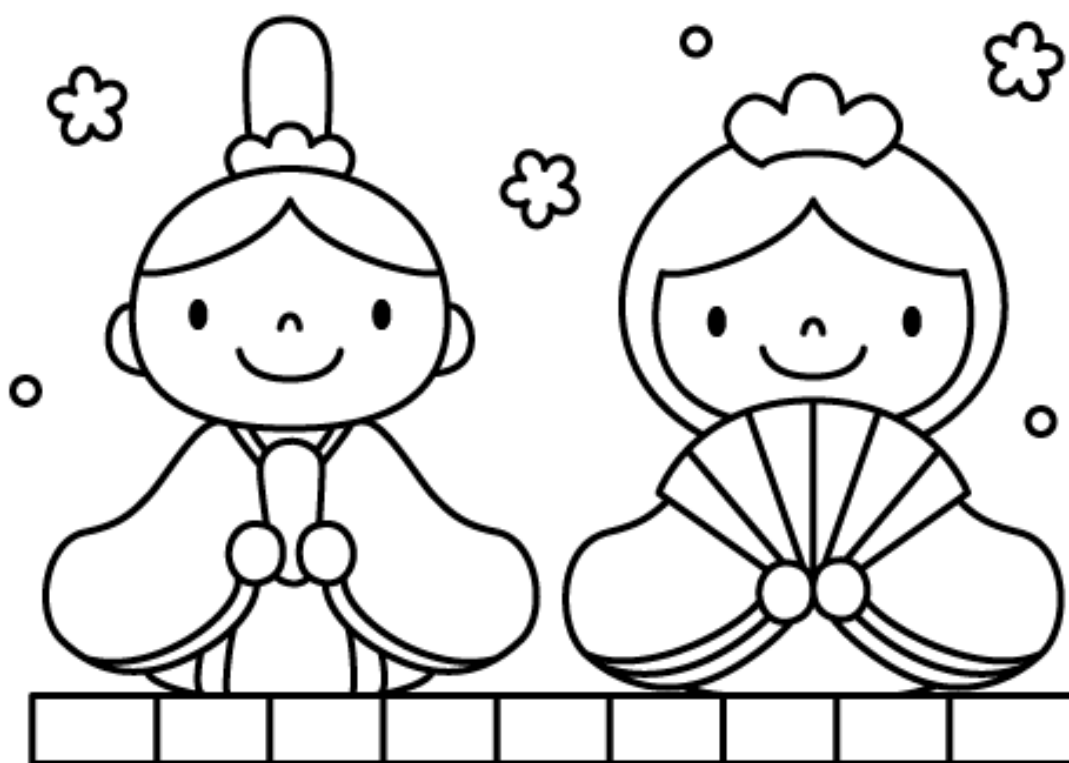
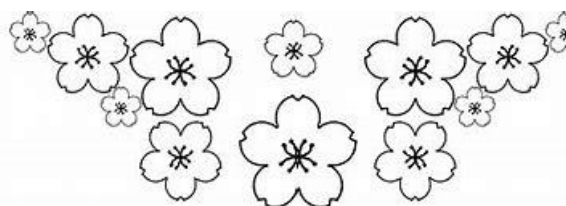
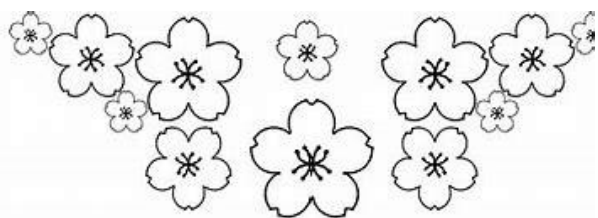
免疫力を高めるため普段から取り入れたい食べ物

- * 乳酸菌（ヨーグルト、チーズ、味噌、キムチ他）→免疫機能をつかさどる免疫細胞の60%腸に集中
- * 食物繊維

花粉症を悪化させないために

- * バランスのとれた食事、脂肪の摂りすぎでは善玉菌を減らす。
- * 香辛料など、刺激の強い食物は控える。

今月のあとびり



©fumira



絵：5歳児共同作品（ネコおばけ）

社会福祉法人種のかい

幼保連携型認定こども園 はつとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp

URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種のかい 法人本部

Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp